



低抵抗チップ抵抗器(長辺電極)

■PRL/RL シリーズ

特 長

- ・放熱、熱分散を考慮した独自構造を持つ低抵抗・長辺電極チップ抵抗器
- ・表面温度の上昇を抑え、小型化を実現
- ・長辺電極による低 ESL でノイズを低減

用 途



◆品名構成

PRL 1220 - R010 - D - T5

梱包: T5
(5,000個)

抵抗値許容差

公称抵抗値

部品記号

形状: PRL0816, PRL1220, PRL1632, PRL3264

RL 3720W T - R10 - F

抵抗値許容差

公称抵抗値

抵抗温度係数

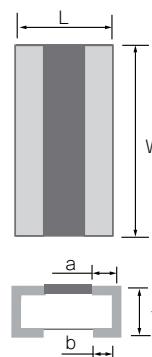
部品記号

形状: RL3720W, RL7520W

◆定 格

形 名	定格 電力	抵抗温度 係数 (ppm/°C)	抵抗値範囲(Ω)と抵抗値許容差(%)				素子 最高 電圧	抵抗値 シリーズ	カテゴリー 温度範囲	梱 包
			±0.5%(D)	±1%(F)	±2%(G)	±5%(J)				
PRL0816	1/3W	±50	75m≤R≤100m	-	-	-	E-24	-40°C ~ 125°C	T5	
		±100	43m≤R≤68m							
		0~+200	—	33m≤R≤39m						
		0~+350	—	18m≤R≤27m						
PRL1220	2/3W	±50	10m≤R≤15m	-	-	-	E-24 1m step (7m ~ 10m)	-40°C ~ 125°C	T5	
		±100	56m≤R≤100m							
		0~+200	47m≤R≤51m							
		0~+350	—	20m≤R≤43m						
PRL1632	1W	±50	10m≤R≤18m	-	-	-	E-24 1m step (5m ~ 10m)	-40°C ~ 125°C	T5	
		±100	5m≤R≤9m							
		0~+200	—							
		0~+350	—							
PRL3264	2W	±50	56m≤R≤100m	-	-	-	√(P · R)	-55°C ~ 125°C	4,000 個	
		±100	47m≤R≤51m							
		0~+200	20m≤R≤43m							
		0~+350	10m≤R≤18m							
RL3720W	1W	±50(Q)	5m≤R≤9m	3m≤R≤4m	-	-	E-24 1m step (1m ~ 10m)	-55°C ~ 125°C	4,000 個	
		±100(R)	—							
		0~+200(S)	100m≤R≤1							
		0~+350(T)	5m≤R≤91m							
RL7520W	2W	±50(Q)	1m≤R≤4m	-	-	-	E-24 1m step (1m ~ 10m)	-55°C ~ 125°C	4,000 個	
		±100(R)	—							
		0~+200(S)	100m≤R≤470m							
		0~+350(T)	10m≤R≤91m							
RL7520W	2W	±50(Q)	100m≤R≤470m	-	-	-	E-24 1m step (1m ~ 10m)	-55°C ~ 125°C	4,000 個	
		±100(R)	10m≤R≤91m							
		0~+420(T)	100m≤R≤470m							
		0~+800(T)	10m≤R≤91m							

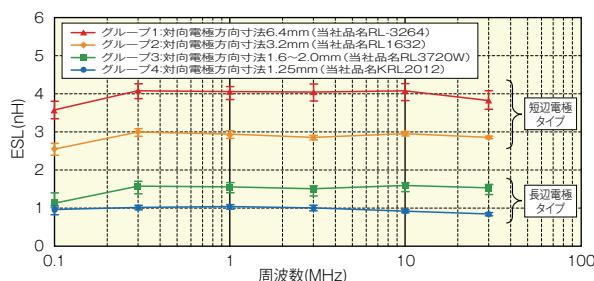
◆外形寸法



形 名	L	W	a	b	t
PRL0816	0.80±0.20	1.60±0.20	—	0.20±0.10	0.40±0.10
PRL1220	1.25±0.20	2.00±0.20	—	0.35±0.15	0.50±0.10
PRL1632	1.60±0.20	3.20±0.20	—	0.45±0.15	0.50±0.10
PRL3264	3.20±0.20	6.40±0.20	—	0.90±0.15	0.50±0.10
RL3720W	2.00±0.20	3.75±0.30	0.40±0.20	0.40±0.20	0.50±0.20
RL7520W	2.00±0.20	7.50±0.30	0.40±0.20	0.40±0.20	0.50±0.20

(unit : mm)

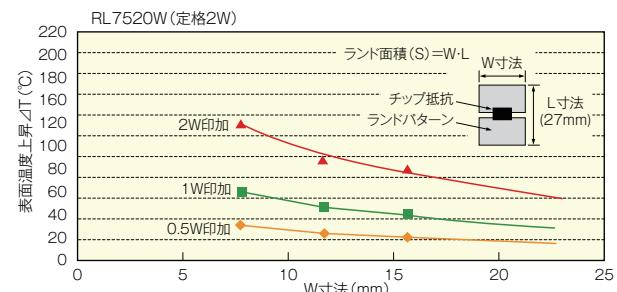
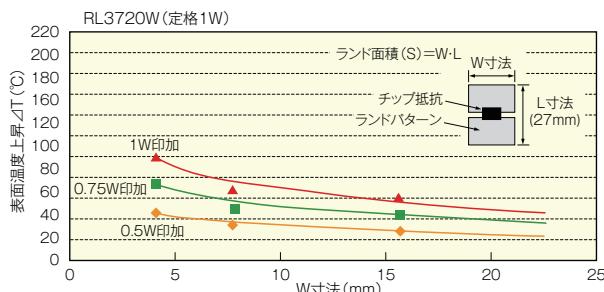
◆ESL



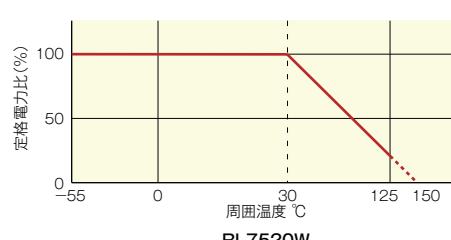
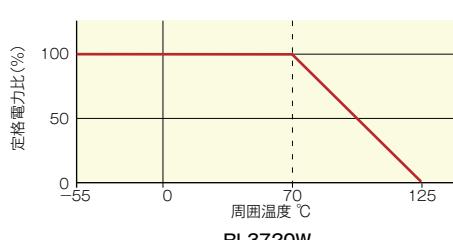
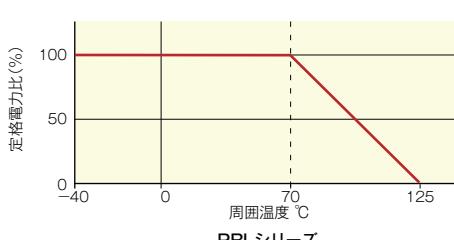
◆表面温度上昇 DATA

○高電力タイプランドパターンと表面温度

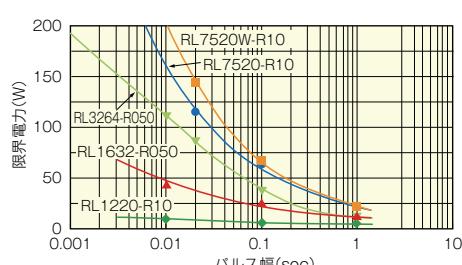
高電力低抵抗チップ抵抗器は、抵抗体で発熱する熱を基板ランド（銅配線）より効率よく放熱できる設計になっております。抵抗器の温度上昇は基板ランドに依存します。



◆負荷軽減曲線



◆耐パルス特性



試験方法

供試抵抗器にパルス電圧を1回印加し、抵抗値の変化率を測定する。
抵抗値変化率が±0.5%を越えるまで印加電圧を上げ、抵抗値変化率が±0.5%以下である上限の電力（印加電圧）をパルス限界電力とする。